



中濃記者会同時配布資料
岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和5年7月5日(水)岐阜県発表資料			
所 属	担当課	担当者	電 話 番 号
中濃県事務所	環境課	板津 吉紀	代表 0575-33-4011 (内線 213) F A X 0575-35-1492

せき しんはさま 関市新迫間地内における地下水汚染について

株式会社ブリヂストン関工場（以下「ブリヂストン」という。）が、自社敷地内の井戸水を自主的に調査したところ、地下水環境基準を超えるヒ素が検出されたため、本日（7月5日）、ブリヂストンから中濃県事務所に報告がありました。

1 報告内容

(1) 所在地

関市新迫間地内

(2) 調査結果の概要

水質調査

項目	調査 検体数	基準超過 検体数	調査結果 (mg/L)	地下水環境基準 (mg/L)	基準 超過倍率
ヒ素	6	1	0.005 未満 ～0.011	0.01 以下	1.1 倍

※その他の物質についても調査を実施していますが、基準超過はありません。

2 汚染の原因

周辺にヒ素を使用する工場・事業場はなく、現時点で原因は不明です。

3 周辺地下水調査について

「岐阜県地下水の適正管理及び汚染対策に関する要綱」に基づき、基準超過が確認された井戸から半径500mの範囲を対象に、井戸水の利用状況及び水質調査を実施することとしていますが、調査範囲に井戸がないことを確認しています。

○参考

【ヒ素】

ヒ素は、金属と非金属の両方の性質を持つ半金属元素であり、合金の添加材（硬さを高めるため）、半導体の原料、ガラスの消泡剤や脱色剤、花火の着色剤、塗料用の顔料、木材の防腐剤等に使用されています。

また、ヒ素は、地殻の表層部には重量比で 0.0005%存在し、水中や土壌中、岩石、大気中に広く存在しています。ヒ素に汚染された井戸水の飲用による慢性の中毒症状としては、皮膚の角質化や色素沈着等が報告されています。

参考：化学物質ファクトシート - 2012 年版 - （環境省）

土壤汚染に関するリスクコミュニケーションガイドライン（環境省水・大気環境局）